

米空軍士官学校の候補生 横田を見学 *USAF cadets tour Yokota*

June 17, 2025

By Senior Airman Alexzandra Gracey
374th Airlift Wing Public Affairs

6月2日から10日にかけて、米コロラド州・コロラドスプリングスの米空軍士官学校の候補生たちが横田基地を訪れ、第374空輸航空団の部隊を2週間にわたって見学した。

「オペレーション・エアフォース・プログラム」は、米空軍士官学校の必須カリキュラムの一つで、世界各地の基地に候補生を派遣し、実際の運用環境に没入させることを目的としている。このプログラムを通じて候補生たちは、新任の少尉として求められる役割や責任、そして期待されることについて学ぶ。

横田基地の夏季運用基地主任シャイナ・スメラス少佐は次のように語った。「運用部隊と支援部隊の両方に直接触れることで、候補生たちは学校で訓練してきたことが実際の任務でどう生かされるのか、貴重な洞察を得ることができる。一人ひとりの空兵、将校が任務の遂行にいかに重要な役割を果たしているかを目にするのはとても意義あることだ。協働のダイナミクスを理解することは、基地全体におけるチームワークと戦略的な連携の価値を高める」

訪問中、士官候補生たちは第374装備即応中隊、第374医療群、第374整備中隊などの部隊を見学した。それぞれの部隊で空兵や将校と対話し、横田基地の即応態勢を維持するために各自が担っている具体的な役割について理解を深めた。

今回のプログラムに参加したマルコム・ピーターソン士官候補生は、次のように感想を述べた。「このプログラムは、空軍士官学校での経験の中で最高のものとなった。実際の空軍の現場を目の当たりにし、将校がどのように下士官と協力しているのかを学んだことや、いろんな職種の任務を見学できたことは、我々一同にとってとてもかけがえのない経験だった」

